

2021年3月期

(2020年度)

第3四半期

決算概要

2021年1月28日

リコーリース株式会社

1. 2021年3月期 第3四半期 連結業績報告
2. セグメント別の状況
3. 2021年3月期 連結業績予想
4. 参考資料

1 . 2021年3月期 第3四半期
連結業績報告

1. 増収増益

売上高は11期連続増収、売上総利益は7期連続増益
新型コロナウイルス感染症の影響による貸倒引当金を計上するも、資産利回りの改善により営業増益

2. 営業資産 9,500億円（前期末比△444億円）

リース債権流動化の実施により営業資産は減少

3. 2021年3月期 営業利益予想167億円に向けて順調な進捗

2020年末以降の市場状況により不確実性は変わらず、増益ながらも通期予想は慎重に見ている

※リース債権流動化を控除しない営業資産は10,208億円（前期末比+17億円）

※当資料では、「親会社株主に帰属する四半期純利益」及び「親会社株主に帰属する当期純利益」を、それぞれ「四半期純利益」及び「当期純利益」と表記

- 営業資産利回り改善とインベストメント事業の伸長により、売上総利益は増加
- 販売費及び一般管理費は節減ならびに優先順位の管理を強化。貸倒引当金の追加発生は抑えられている

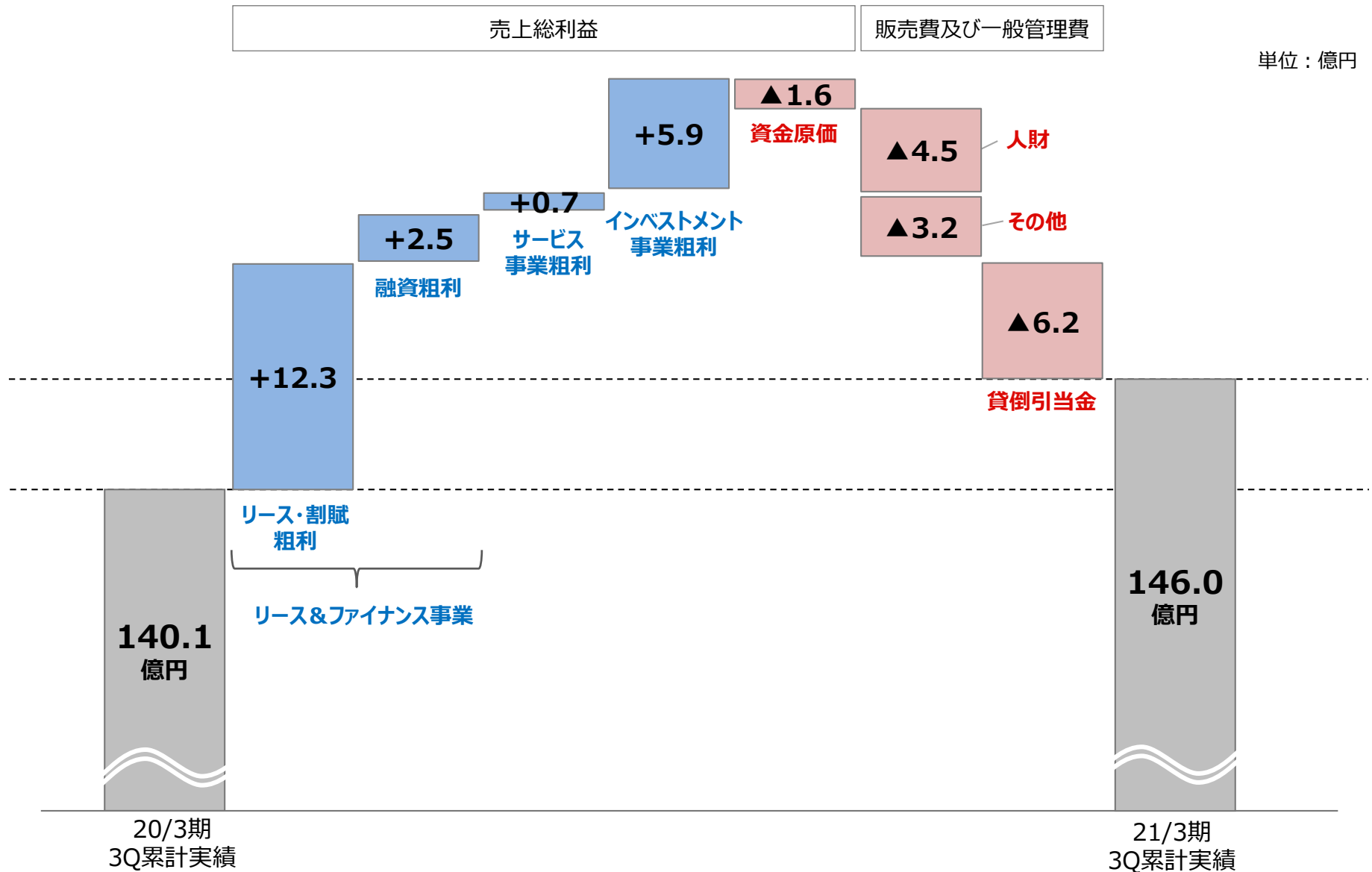
単位：億円

	2020/3期 3Q累計実績	2021/3期		2021/3期 通期予想	進捗率
		3Q累計実績	伸率		
売上高	2,491	2,494	0.1%	3,304	75.5%
売上総利益	263	283	7.6%	369	76.9%
販売費及び一般管理費	123	137	11.4%	202	68.2%
貸倒引当金繰入額	12	18	50.3%	32	58.1%
営業利益	140	146	4.2%	167	87.5%
経常利益	138	144	4.5%	164	88.1%
当期純利益	95	99	3.9%	113	87.8%
			<u>前年差</u>		
1株当たり配当金（円）	—	—	—	95.00	—
1株当たり純利益（円）	309.07	322.02	12.95	366.59	—
配当性向	—	—	—	25.9%	—
ROA（総資産当期純利益率）	1.18%	1.15%	△0.03%	0.97%	—
ROE（自己資本利益率）	7.2%	7.1%	△0.1%	6.1%	—

※ROA及びROEの実績は、年換算した数値を記載



営業利益の前年比増減要因



連結貸借対照表

- ・ オフバランスのリース債権流動化を実施し、リース投資資産は減少
- ・ 流動性リスクに備え、手元資金を確保

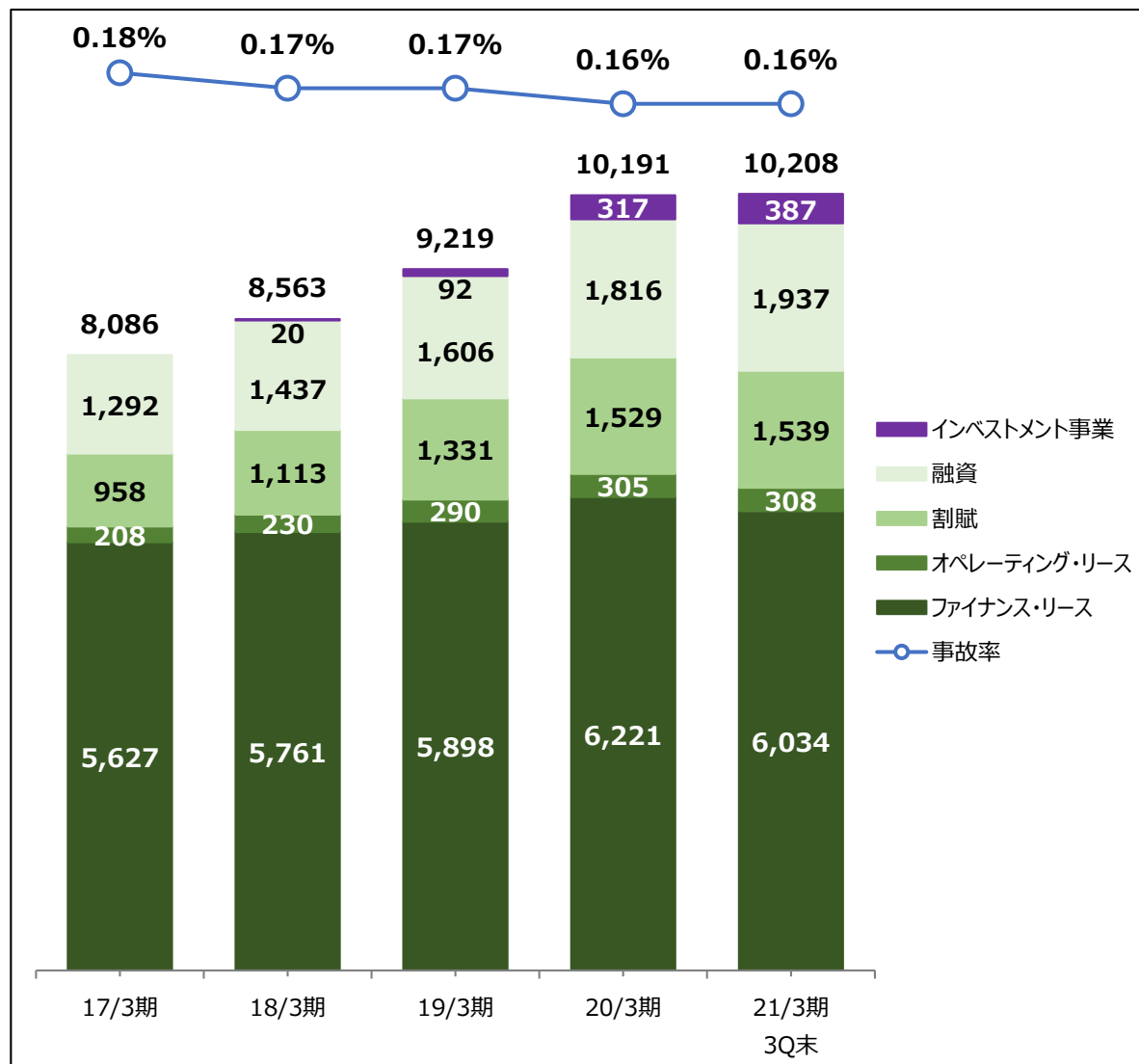
単位：億円

	2020/3期	2021/3期	
	期末	3Q末	前期末増減
現金及び預金	8	313	304
リース債権及びリース投資資産	5,975	5,326	△648
割賦債権	1,721	1,742	21
営業貸付金	1,816	1,937	120
賃貸資産	502	540	37
貸倒引当金	△96	△ 102	△5
その他資産	1,579	1,804	225
資産 合計	11,507	11,562	55

	2020/3期	2021/3期	
	期末	3Q末	前期末増減
短期有利子負債	2,111	2,363	251
長期有利子負債	6,084	5,900	△184
債権流動化債務	400	400	0
その他負債	1,094	1,008	△86
負債 合計	9,690	9,671	△19
資本の部	1,816	1,891	74
負債資本 合計	11,507	11,562	55

※貸倒引当金は、流動資産及び固定資産の合計を記載
 ※1年以内返済予定の長期債務は、短期有利子負債に含む

単位：億円



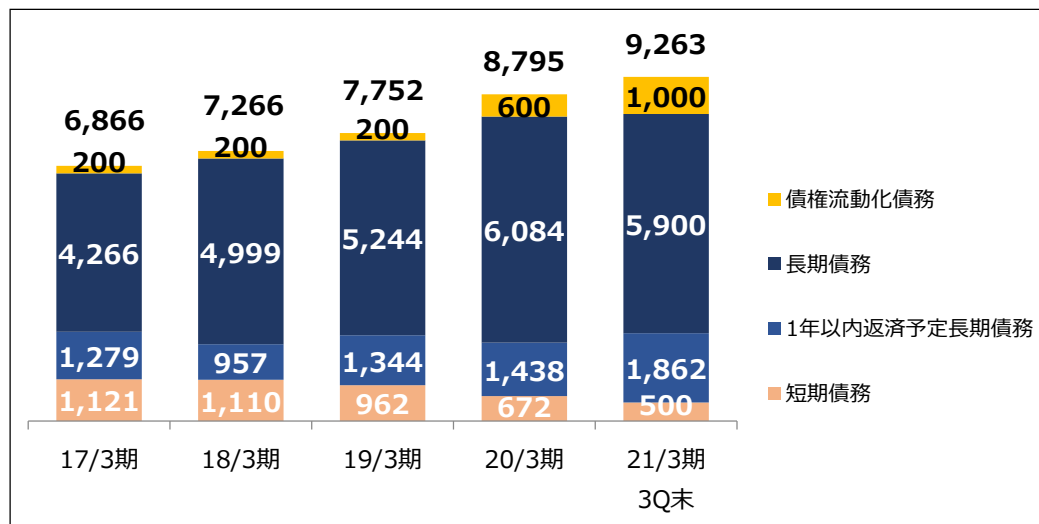
- 融資ビジネスが資産の積上げを牽引し流動化控除前の営業資産は前期末から17億円増加
- 事故率は引き続き低位で推移

※営業資産はリース債権流動化を控除しない残高を表示
(21/3期3Q流動化金額：708億円)

※事故率 = 事故損失額 ÷ 営業資産平均残高
(21/3期3Qは、事故損失額を年換算して事故率を算出)

調達総額

単位：億円

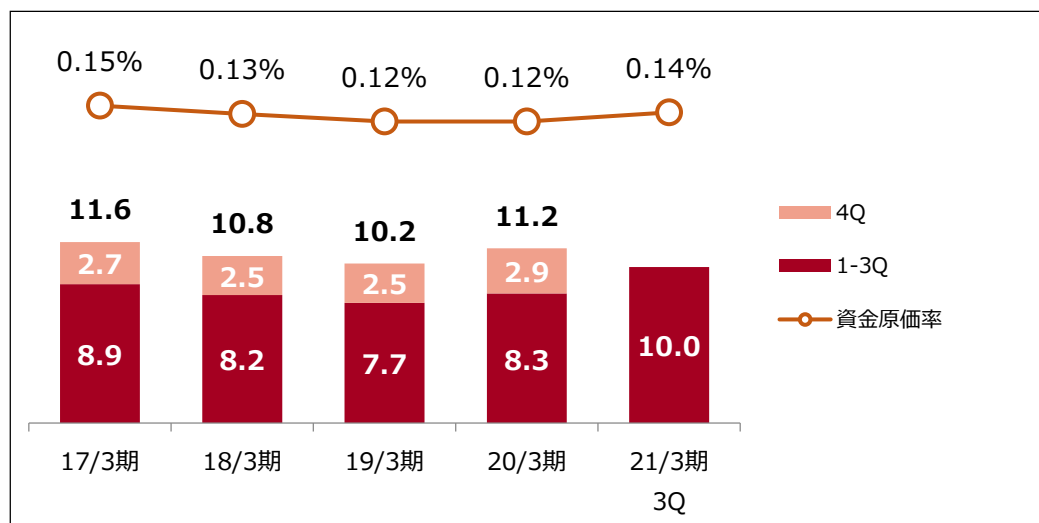


- 債権流動化及びポジティブインパクトファイナンス（PIF）による資金調達を実施

※債権流動化債務は、オフバランス調達を含む残高を表示
 ※PIF：環境・社会・経済へのインパクトを評価し、当該活動の支援を目的とした融資

資金原価・資金原価率

単位：億円

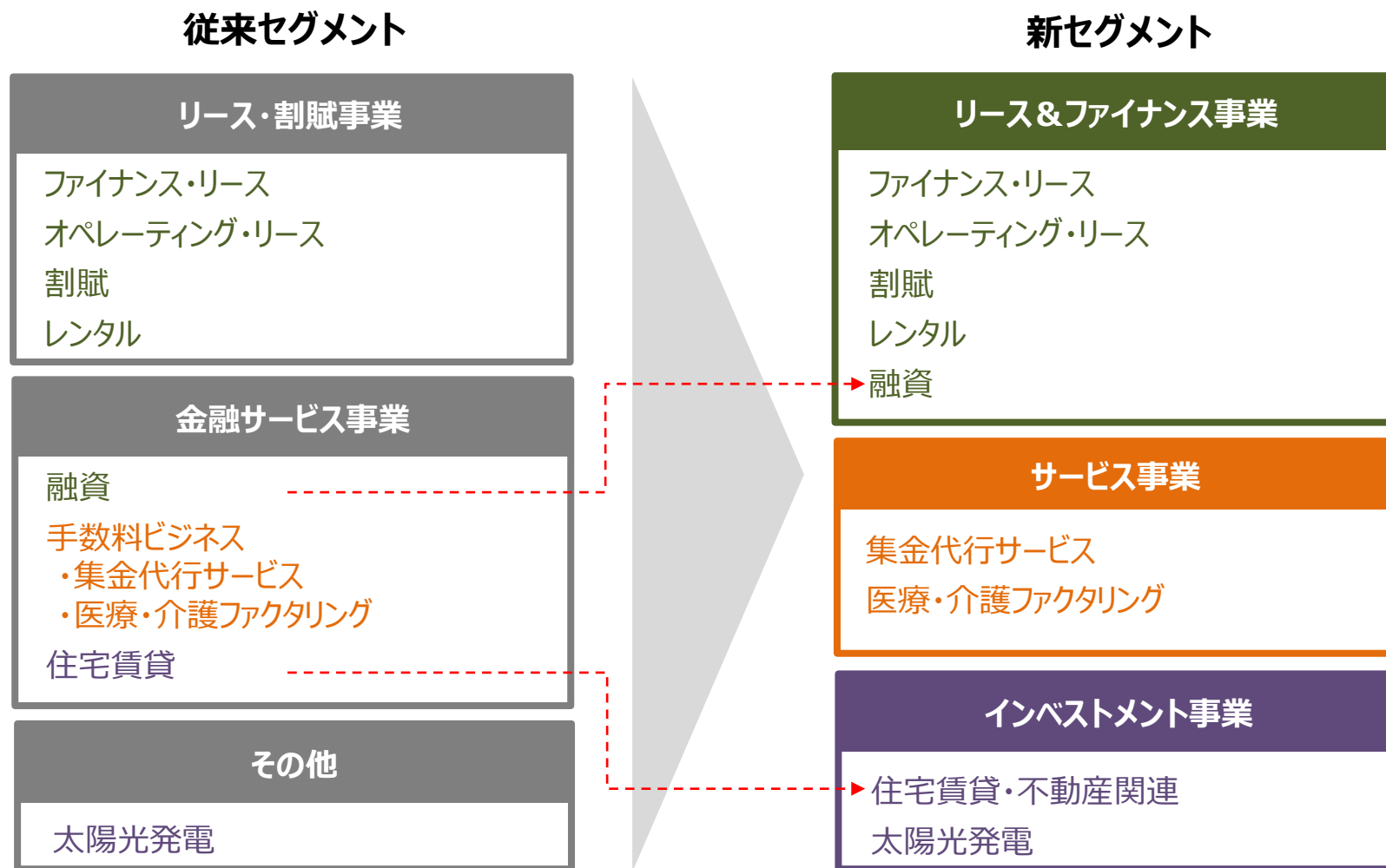


- 調達の増加及び借り換え、一時的な調達環境の悪化により、資金原価は増加

※資金原価率 = 資金原価 ÷ 営業資産平均残高
 ※21/3期3Qは、資金原価を年換算して資金原価率を算出

2. セグメント別の状況

- 管理区分の見直しに伴い、第1四半期より報告セグメントの区分を変更



- リース&ファイナンス事業は、リース債権流動化により減収となったが資産利回りの改善により増益
- インベストメント事業は、これまでの積極的な事業投資により増収増益

■ 売上高及び損益

単位：億円

	2020/3期	2021/3期	
	3Q累計実績	3Q累計実績	伸率
リース&ファイナンス事業			
売上高	2,445	2,434	△0.4%
セグメント利益	137	139	1.7%
サービス事業			
売上高	39	41	4.0%
セグメント利益	11	12	3.9%
インベストメント事業			
売上高	6	18	194.7%
セグメント利益	0	5	459.8%

■ 営業資産

単位：億円

	2020/3期	2021/3期	
	期末	3Q末	前期末増減
リース&ファイナンス事業	9,874	9,820	△53
インベストメント事業	317	387	70

※リース債権流動化を控除しない残高を表示

- 新型コロナウイルス感染症の影響、前年の消費税増税前の駆け込み・OSマイグレーション需要の反動減により取扱高は減少
- 「緊急事態宣言」の再発令を受け、電話やWeb会議を利用した非対面営業での活動を継続

■ 取扱高（商品別）

単位：億円

	2020/3期	2021/3期	
	3Q累計実績	3Q累計実績	伸率
ファイナンス・リース	2,190	1,743	△20.4%
オペレーティング・リース	133	133	0.1%
リース計	2,324	1,877	△19.2%
割賦	820	586	△28.5%
リース・割賦 合計	3,144	2,463	△21.7%
融資	420	360	△14.1%
リース&ファイナンス事業 取扱高 合計	3,565	2,824	△20.8%

■ リース・割賦 取扱高（機種別）

単位：億円

	2020/3期	2021/3期	
	3Q累計実績	3Q累計実績	伸率
事務用・情報関連機器	1,522	1,236	△18.8%
医療機器	287	227	△20.6%
産業工作機械	402	283	△29.6%
商業・サービス業用機器	281	146	△48.1%
車両・輸送用機器	166	163	△1.6%
その他	484	405	△16.2%
リース・割賦 取扱高 合計	3,144	2,463	△21.7%

リース事業協会
(4月-11月累計)
伸率

△14.1%
△19.8%
△16.7%
△22.8%
△14.7%
△10.2%
△15.3%

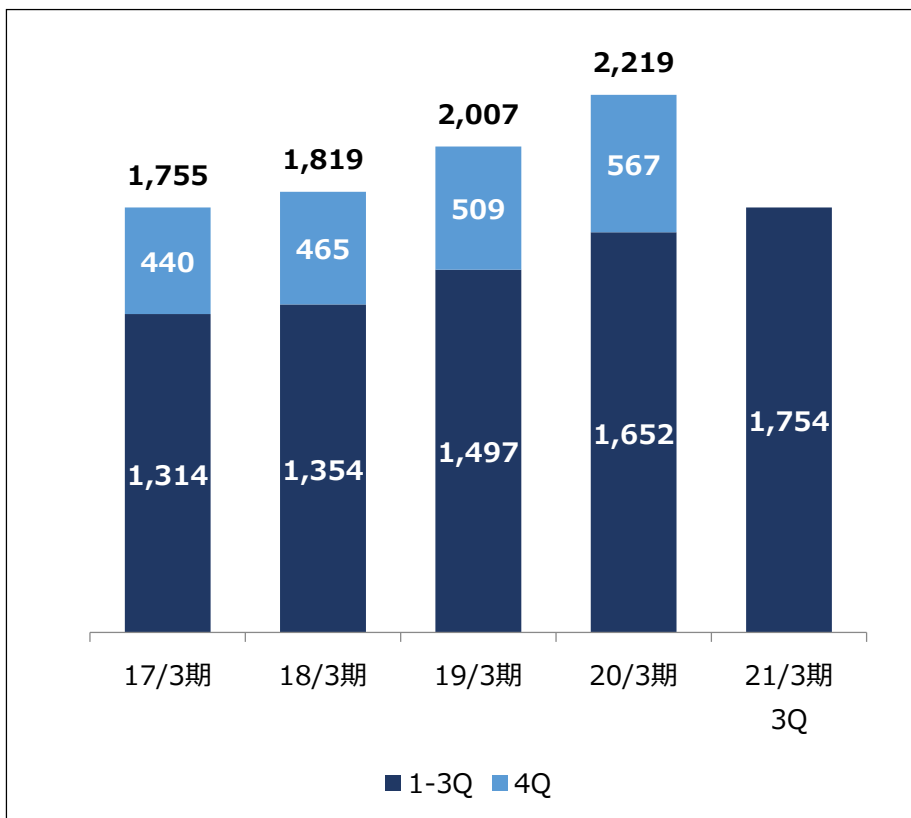
環境関連	436	373	△14.6%
------	-----	------------	--------

※環境関連は、上記取扱高の内数

- 集金代行サービスの取扱件数は引き続き増加。非接触のニーズから、新規成約件数も回復傾向
- 医療・介護ファクタリングは、公的支援等により解約申請が発生し、取扱高は減少

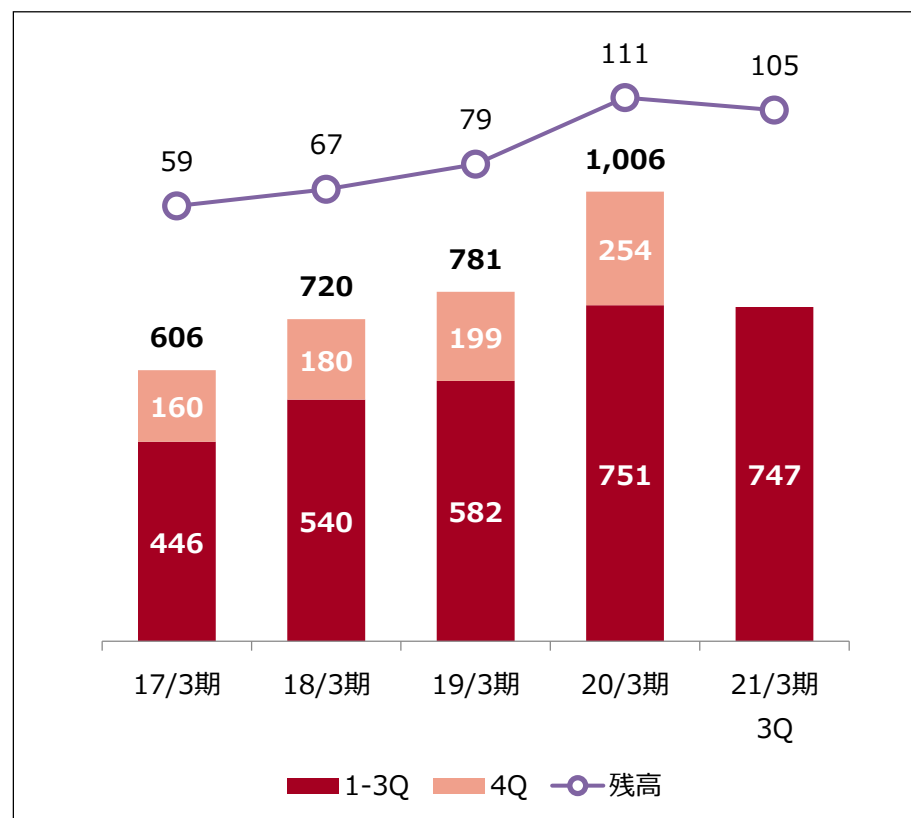
■ 集金代行サービス取扱件数

単位：万件



■ 医療・介護ファクタリング取扱高

単位：億円



- 太陽光発電は、新型コロナウイルス感染症による工事遅延の影響を受け、想定の前進を下回る
- 住宅賃貸の仕入は、市況を鑑み慎重なスタンスを継続。保有住戸は高い入居率を維持

■ 事業投資額

単位：億円

	2020/3期 3Q累計実績	2021/3期	
		3Q累計実績	伸率
太陽光発電	29	43	50.7%
住宅賃貸・不動産関連	85	50	△41.2%
インベストメント事業投資額 合計	114	94	△17.9%

■ 営業資産

単位：億円

	2020/3期 期末	2021/3期	
		3Q末	前期末増減
太陽光発電	83	118	34
住宅賃貸・不動産関連	234	269	35
インベストメント事業 営業資産 合計	317	387	70



3. 2021年3月期 連結業績予想

- 新型コロナウイルス感染症等の影響により減収減益を予想（2020年5月決算発表時の公表通り）
- 1株当たり配当金は95円と26期連続増配、配当性向は25.9%を予想

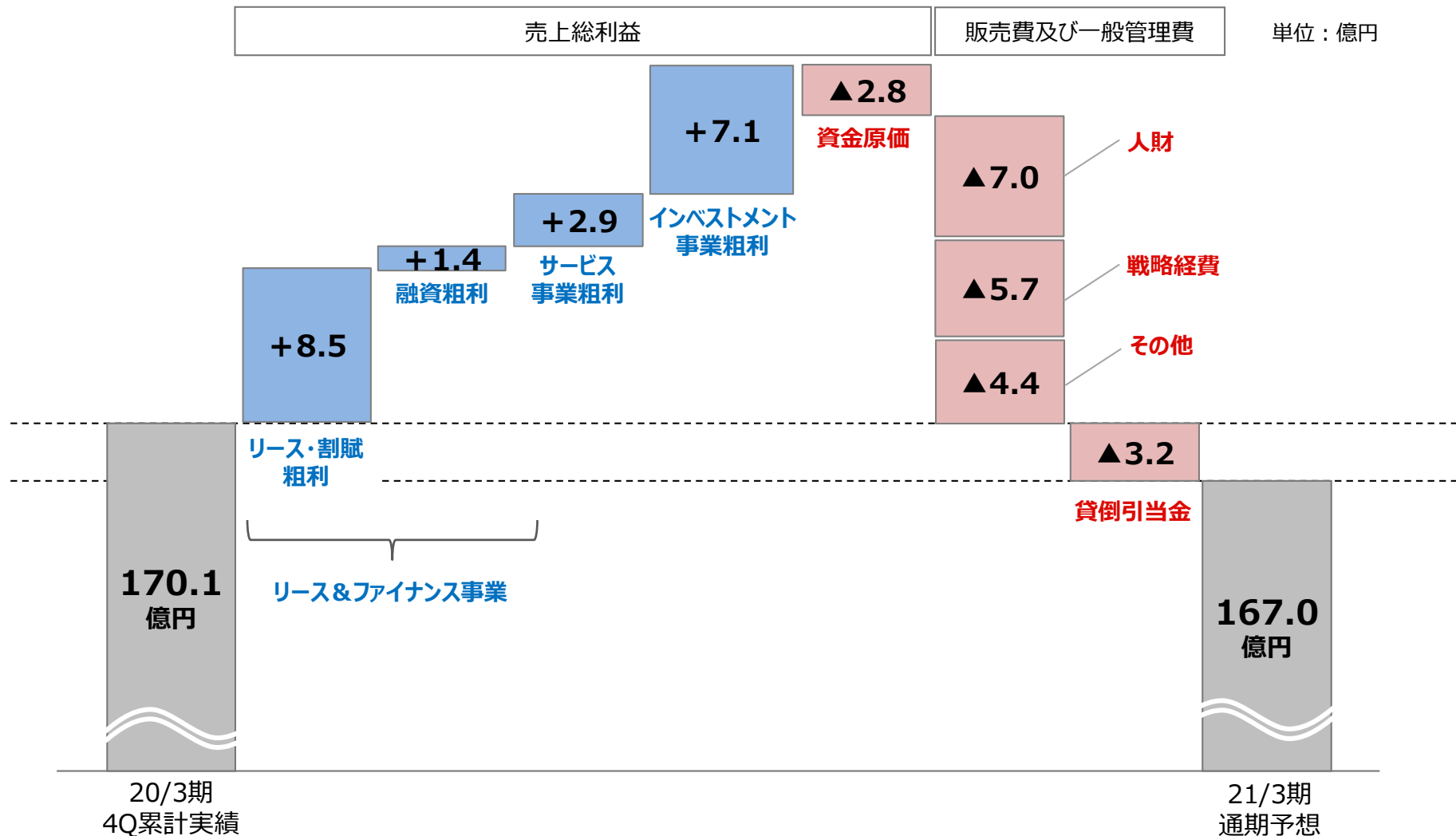
単位：億円

	2020/3期		2021/3期	
	通期実績	伸率	通期予想	伸率
売上高	3,322	5.8%	3,304	△0.6%
売上総利益	351	6.8%	369	4.9%
販売費及び一般管理費	181	15.9%	202	11.2%
貸倒引当金繰入額	28	76.4%	32	11.1%
営業利益	170	△1.5%	167	△1.9%
経常利益	170	△1.7%	164	△4.0%
当期純利益	118	△1.0%	113	△4.5%
		前年差		前年差
1株当たり配当金(円)	90.00	10.00	95.00	5.00
1株当たり純利益(円)	382.80	0.20	366.59	△16.21
配当性向	23.5%	2.6%	25.9%	2.4%
ROA(総資産当期純利益率)	1.08%	△0.11%	0.97%	△0.11%
ROE(自己資本利益率)	6.6%	△0.4%	6.1%	△0.5%

※連続増配は、2000年3月期の株式分割による実質増配を含む

営業利益の前年比増減要因 予想

- 全セグメントにおいて売上総利益は増益計画
- 組織能力強化戦略に基づく、事業基盤（人的リソース、ITインフラ）強化のための投資を継続、貸倒引当金も増加



4. 參考資料

単位：億円

	2020/3期		2021/3期		2021/3期	
	3Q累計実績	伸率	3Q累計実績	伸率	通期予想	伸率
売上高	2,491	6.2%	2,494	0.1%	3,304	△0.6%
リース料収入	1,781	3.5%	1,778	△0.2%	2,331	△2.2%
割賦売上高	384	2.3%	350	△8.9%	532	4.1%
営業貸付収益	23	11.0%	27	13.5%	38	15.7%
受取手数料	46	7.6%	46	2.1%	61	△0.5%
その他の売上高	255	39.4%	291	14.3%	342	2.7%
売上原価	2,227	6.0%	2,211	△0.8%	2,935	△1.2%
リース料原価	1,610	3.2%	1,599	△0.7%	-	-
割賦原価	361	1.6%	325	△9.8%	-	-
資金原価	8	8.4%	10	20.1%	-	-
その他の売上原価	247	39.7%	275	11.4%	-	-
売上総利益	263	8.0%	283	7.6%	369	4.9%
販売費及び一般管理費	123	11.1%	137	11.4%	202	11.2%
営業利益	140	5.5%	146	4.2%	167	△1.9%
経常利益	138	3.6%	144	4.5%	164	△4.0%
当期純利益	95	4.1%	99	3.9%	113	△4.5%

事業成長戦略

新たな事業領域の開拓とビジネスモデルの創造



みずほリースとの提携による事業拡大



施策

「E・S・G」にフォーカスした事業投資

- ・株式会社インテグリティ・ヘルスケアへの出資及び業務提携
- ・エンプラス株式会社の株式取得（子会社化）
- ・五常・アンド・カンパニー株式会社への出資
- ・その他、ポジティブインパクトのファンド等への出資

既存事業の強化及び新たな事業機会の創出

- ・相互案件紹介や協調により25億円の案件成約
- ・みずほリースからのベンダー紹介開始
- ・リコーリース集金代行の顧客紹介開始
- ・顧客接点のシステムまたはアプリケーションの共有に向けた活動展開

本資料の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。

<お問い合わせ先>

リコーリース 株式会社

RICOH LEASING COMPANY, LTD.

経営企画部

Tel : 03-6204-0608
Email : ir@rle.ricoh.co.jp
URL : <https://www.r-lease.co.jp>